

2020年6月23日

### 「静岡県内企業経営者の景気見通し調査(2020年7~12月期 B.S.I.)」

## 景況感は、11年半ぶりの低水準に落ち込む 全業種で悪化判断、来年は大企業を中心に改善期待

静岡経済研究所（理事長 一杉逸朗）では、5月に実施した「静岡県内企業経営者の景気見通し調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

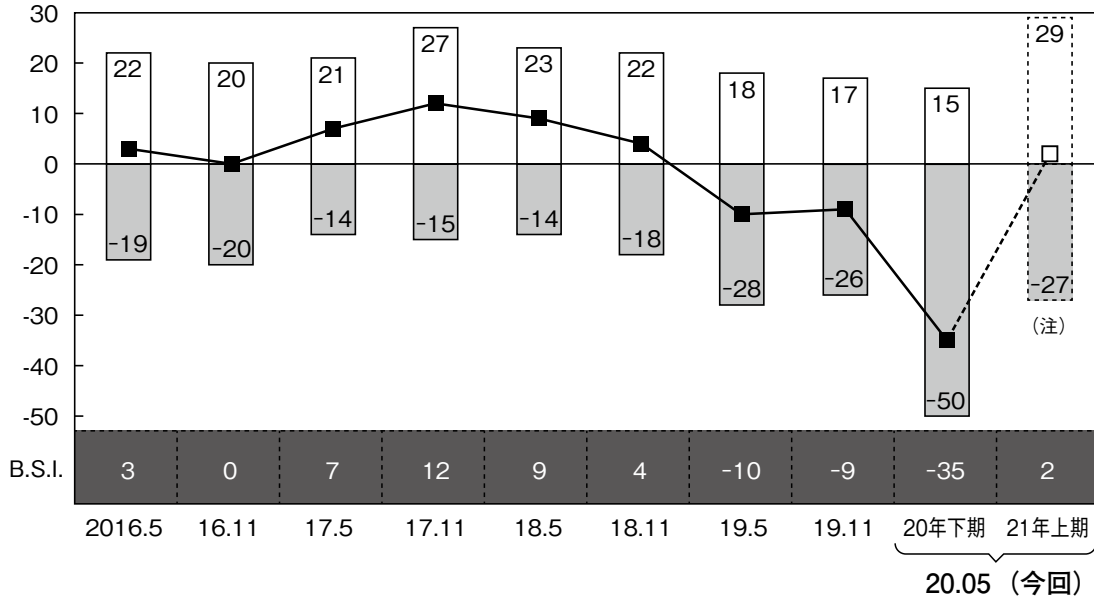
#### 景気見通し

- 2020年下期（7~12月）のB. S. I.（業界景気見通し指数）は、「上昇」（15%）が「下降」（50%）を△35ポイント下回った。△30を割り込む水準となったのは、リーマン・ショック直後の2008年11月調査（△53）以来。
- 新型コロナウイルスの感染防止対策により経済活動が大幅に制限され、海外では収束の見通しが立たないなど、内外需の早期回復は期待し難く、景況感は急激に厳しさを増している。
- 業種別にみると、製造業では、「輸送用機械器具」（△24→△61）、「一般機械器具」（△4→△48）、「電気機械器具」（+25→△44）が大幅なマイナスとなるなど、全13業種で悪化判断となった。非製造業も「サービス業」（△9→△41）など、全7業種でマイナスとなり、景気の後退感がすべての業種に及んでいることがうかがわれる。
- 2021年上期については、製造業が+7、非製造業が△2と改善の兆しがみられる。

※本件のお問い合わせ先 担当（佐藤 和也）

# 景況感は、11年半ぶりの低水準に落ち込む ～全業種で悪化判断、来年は大企業を中心に改善期待～

図表1 半期先の業界景気見通し



□ 上昇 (%)、■ 下降 (%) ■ B.S.I. (「上昇」と「下降」の差を指数化したもの)  
(注) 2021年上期は2020年下期と比べた業績見通し

## 景気見通し（概況）

□ B.S.I.は11年半ぶりに△30を下回るも、2021年上期は改善期待へ

2020年下期（7～12月）のB.S.I.（※）による業界景気見通しは、「上昇」（15%）が「下降」（50%）を△35ポイント下回り、リーマン・ショック直後の2008年11月調査（△53）以来、11年半ぶりに△30を割り込む水準を記録（図表1）。新型コロナウイルスの流行および感染防止対策により経済活動が大幅に制限され、海外では収束の見通しが立たないなど、内外需の早期回復は期待し難く、景況感は急激に厳しさを増している。

企業規模別にみると、大企業では「上昇」（10%）が「下降」（48%）を△38ポイント下回り、中小企業でも「上昇」（15%）が「下降」（50%）を△35ポイント下回った。大企業（前回△9ポイント）、中小企業（前回△10ポイント）ともに、マイナス幅が25ポイント以上も拡大した（次頁図表2）。

一方、2021年上期（1～6月）は、「上昇」（29%）が「下降」（27%）を+2ポイント上回った。企業規模別では、中小企業は±0ポイントにとどまり、大企業では+28ポイントと、大企業を中心に景況感の改善期待がみられる（次頁図表2）。

（※）B.S.I.（Business Survey Index）とは、「上昇」と「下降」の差を指数化したもの。次頁の「調査の要領」を参照。

## 業種別見通し

### □全業種で悪化判断、来年は大企業を中心に改善の兆しも

2020年下期の業種ごとの見通しを前回調査と比べると、製造業（△9→△41）、非製造業（△10→△28）ともにマイナス幅が急拡大し、厳しい見方が一層強まった（図表3）。

業種を細かくみると、製造業では、「輸送用機械器具」（△24→△61）、「一般機械器具」（△4→△48）、「電気機械器具」（+25→△44）が大幅なマイナスとなるなど、全13業種で悪化判断となった。非製造業も「サービス業」（△9→△41）など、全7業種でマイナスとなり、景気の後退感がすべての業種に及んでいる様子が見られる（7頁付表）。

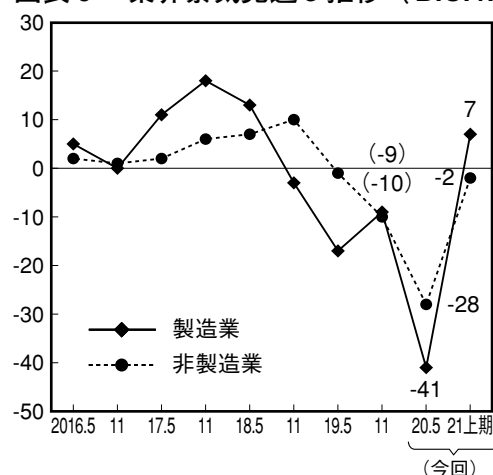
一方、2021年上期については、製造業が+7、非製造業が△2と改善の兆しがみられる。企業規模別にみると、大企業が+28、中小企業は±0であり、特に非製造業の大企業（+36）では改善を見込む企業の割合が高い（図表2、3）。

図表2 業界景気見通し

(単位：%)

項目 業種別・ 規模別	回答 企業 数	業界景気							
		2020年7～12月				2021年1～6月			
		上 昇	横 ばい	下 降	B. S. I.	上 昇	横 ばい	下 降	B. S. I.
全企業	377	15	35	50	△35	29	44	27	2
大企業	41	10	42	48	△38	43	42	15	28
中小企業	336	15	35	50	△35	28	44	28	0
製造業	197	12	35	53	△41	34	39	27	7
大企業	16	7	33	60	△53	47	20	33	14
中小企業	181	12	35	53	△41	33	40	27	6
非製造業	180	18	36	46	△28	24	50	26	△2
大企業	25	12	48	40	△28	40	56	4	36
中小企業	155	19	34	47	△28	22	49	29	△7

図表3 業界景気見通し推移 (B.S.I.)



注1) 本調査における中小企業とは、資本金3億円以下または従業員300人以下の企業（ただし卸売業では同1億円以下または同100人以下、小売業では同5,000万円以下または同50人以下、サービス業では同5,000万円以下または同100人以下）であり、それ以外を大企業とした。  
注2) 「2020年7～12月」は「2020年1～6月」と、「2021年1～6月」は「2020年7～12月」と比較した見通しである。

## 調査の要領

- (1) 調査目的：この調査は、当研究所が1963年より毎年2回実施しているもので、静岡県内企業経営者の自社の業績見通しをもとに、業界景気を調査することを目的にしている。
- (2) 調査対象：静岡県内に本社をおく主要企業。
- (3) 調査方法：各企業に対するアンケート調査。
- (4) 調査内容：①2020年上期（1～6月）に比べた2020年下期（7～12月）、および2020年下期に比べた2021年上期の自社の業績見通し  
②2020年上期に比べた2020年下期の売上額、経常利益などの項目別見通し  
③現在の企業経営上の問題点および今後重視する経営戦略
- (5) 調査時点：2020年5月中旬
- (6) 回答状況：調査対象企業767社のうち、有効回答をよせられた企業は377社で、有効回答率は49.2%である。

(注) **B.S.I.** (Business Survey Index) とは、企業経営者の見通しを数字であらわしたもので、前期に比べて上昇とみる…x、横ばいとみる…y、下降とみる…zについて、 $x+y+z=100$ とした時、 $B.S.I.=2x+y-100=x-z$ と定義。全員が上昇とみればB.S.I.は+100、全員が下降とみるとB.S.I.は△100になる。上昇と判断する人が多ければ多いほど+100に近づき、下降とみる人が多ければ多いほど△100に近づき、上昇と下降が同数（全員が横ばいとみる場合も含む）の場合、B.S.I.は0となる。

## 項目別見通し

□景気が底<sup>ば</sup>這いする中で売上が激減、経常利益はリーマン・ショック時以上に悪化と予想

今後の見通しを項目別にみると、製造業では、「販売（出荷）価格」（△3→△20）、「販売数量」（△13→△41）とも急激に低下し、「売上額」（△8→△42）は多くの経営者がマイナスを見込んでいる。「原材料（仕入）価格」（+24→△6）は下降に転じ、「賃金」（+56→+5）も上昇見込みが大きく縮小するものの、売上減少の影響を強く受け、「経常利益」（△23→△83）はリーマン・ショック直後（△58）以上の悪化となった。

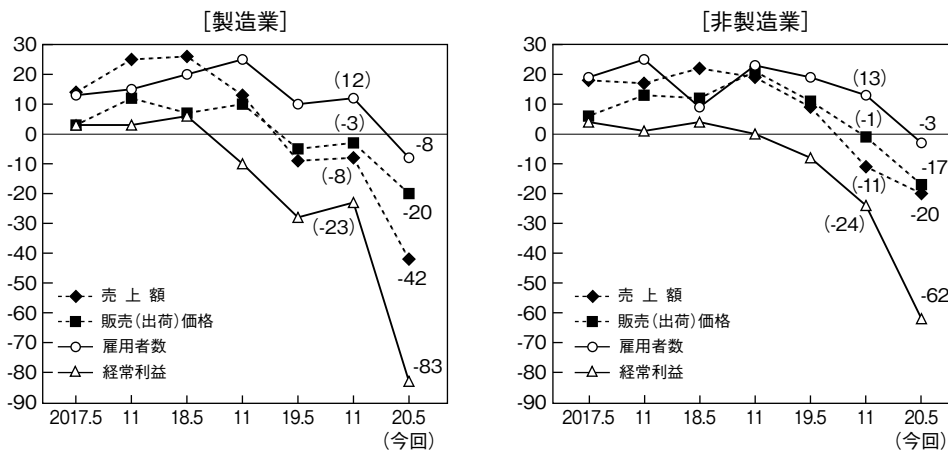
非製造業も同様に、「販売（出荷）価格」（△1→△17）、「販売数量」（△11→△22）が低下するため、「売上額」（△11→△20）が落ち込む。「原材料（仕入）価格」（+28→+7）や「賃金」（+47→+4）などのコスト上昇は収まるものの、製造業同様、「経常利益」（△24→△62）はリーマン・ショック時（△44）を超える悪化が見込まれる。

また、製造業・非製造業ともに、「設備投資」が大幅なマイナスに転じており、業績低迷が見込まれる中で、投資マインドは急速に悪化している。一方、「金融機関借入」は、企業経営者の資金繰りへの不安を反映してプラスに転じた（図表4、5）。

図表4 2020年7～12月の項目別見通し

[製造業]		B.S.I	項 目	B.S.I	[非製造業]	
減少・下降	増加・上昇				減少・下降	増加・上昇
61	19	△42	売 上 額	△20	46	26
32	12	△20	販 売（出 荷）価 格	△17	34	17
61	20	△41	販 売 数 量	△22	46	24
61	21	△40	受 注 額	△31	53	22
60	19	△41	生 産 量	△26	45	19
19	13	△6	原 材 料（仕 入）価 格	+7	20	27
13	18	+5	賃 金	+4	14	18
30	16	△14	製 品（商 品）在 庫 数	△10	24	14
16	8	△8	雇 用 者 数	△3	16	13
39	17	△22	設 備 投 資	△34	42	8
7	44	+37	金 融 機 関 借 入	+13	11	24
86	3	△83	経 常 利 益	△62	69	7

図表5 主要な項目別見通しの推移（B.S.I.）



## 経営上の問題点

### □「売上（受注）不振」が「人手不足」に代わって深刻な経営課題に

企業経営上の問題点としては、製造業、非製造業ともに、「売上（受注）不振」を挙げており、前回調査と比べても大幅に増加した（製造業で前回比+30.0ポイント、非製造業で同+26.4ポイント）。

製造業では、前回調査まで最重要課題に位置付けられていた「人手不足」（47.4%→13.7%）が△30ポイント以上減少、「賃金（人件費）の上昇」（40.9%→21.8%）も大きく低下しており、経営課題が需要の減少に集中する形となった（図表6）。

一方、非製造業でも同様の傾向にあるが、回答割合こそ大幅に低下したものの、依然として「人手不足」（61.5%→31.5%）や「賃金（人件費）の上昇」（39.9%→24.3%）が「売上（受注）不振」に次ぐ重要な経営課題に位置付けられている。一般家庭向けの配送需要が増加している運輸業や、新型コロナウイルス感染拡大による需要減の影響を直に受けにくい建設業などでは、人材に関する課題を挙げた経営者が多かった。

## 今後重視する経営戦略

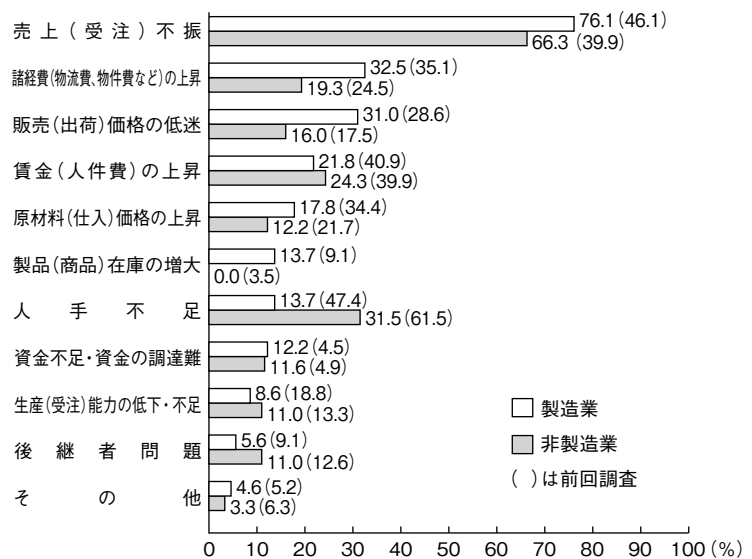
### □製造業は競争力強化、非製造業は基盤強化を重視

今後重視する経営戦略としては、製造業、非製造業ともに「合理化・コストダウンの徹底」を挙げる経営者が最も多い（図表7）。

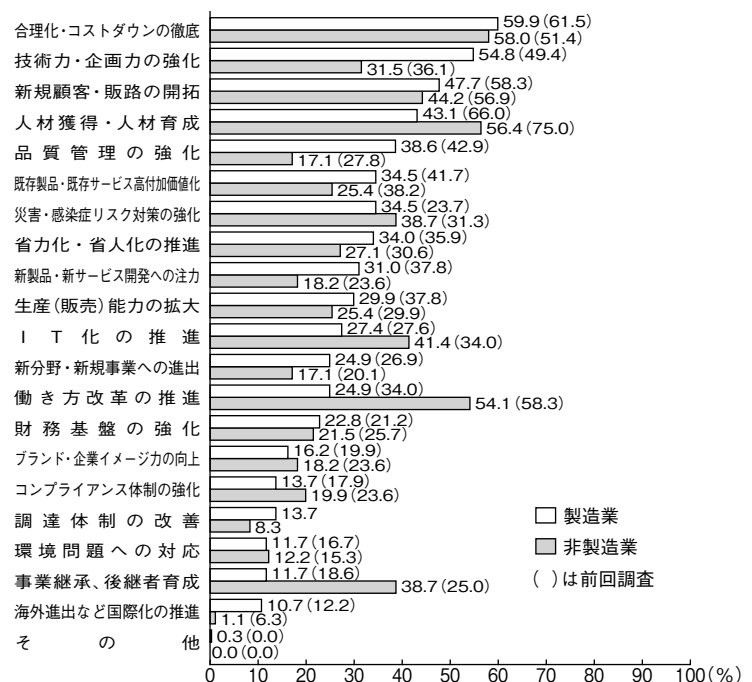
このほか、製造業では、「技術力・企画力の強化」（54.8%）や「新規顧客・販路開拓」（47.7%）が続き、攻めの姿勢を打ち出す経営者が多い。一方、非製造業では、「人材獲得・人材育成」（56.4%）、「働き方改革の推進」（54.1%）が多く挙げられ、経営基盤を強化する姿勢がみられる。なお、「災害・感染症リスク対策の強化」も4割近くの経営者が課題として挙げている。

以上のように、静岡県内企業経営者による2020年下期の景気見通しは、全業種で大幅な悪化判断となった。21年上期は最悪期を脱するとの見方であるが、コロナ感染の再拡大や世界需要の低迷など不透明な要素が多く、予断を許さない状況が続く。（佐藤 和也）

図表6 現在の企業経営上の問題点（複数回答）



図表7 今後重視する経営戦略（複数回答）



付表 2020年7～12月の業界景気、自社の見通し(B.S.I.)

業種	項目(B.S.I.)	(前 回)	(業 界 景 気)	(今 回)	(業 界 景 気)	売 上 額	価 販 売 ( 出 荷 格)	販 売 数 量	受 注 額	生 産 量	(仕 原 材 入) 価 格 料	賃 金	在 製 品 ( 庫 品 数)	雇 用 者 数	設 備 投 資	借 金 融 機 関 入 関	経 常 利 益
全産業(377)		△9	△35	△31	△19	△32	△37	△35	△1	5	△13	△6	△27	26	△73		
製造業(197)		△9	△41	△42	△20	△41	△40	△41	△6	5	△14	△8	△22	37	△83		
食料品(27)		0	△15	△27	△11	△31	△31	△23	15	15	△16	△4	△7	30	△75		
繊維品(6)		40	△83	△100	△67	△100	△100	△100	△33	△17	△17	△17	△33	67	△100		
木材・木製品(10)		△8	△50	△60	△50	△60	△60	△60	△50	△10	0	0	△50	50	△90		
パルプ・紙・紙加工品(17)		0	△11	△24	△18	△24	△29	△29	12	12	0	13	11	40	△50		
出版・印刷(4)		△33	△75	△100	△50	△100	△100	△100	△25	△25	△50	△50	△75	75	△100		
化学・ゴム製品(11)		△33	△60	△40	△9	△37	△46	△37	△36	△18	0	0	△45	10	△100		
窯業・土石製品(7)		△16	△29	△29	29	△29	△43	△43	100	29	0	14	△29	14	△57		
鉄鋼・非鉄金属(9)		0	△11	△11	△11	0	△22	△11	△11	0	△11	11	22	33	△78		
金属製品(21)		△18	△38	△15	5	△10	△19	△14	△10	14	△29	△14	△24	35	△85		
一般機械器具(28)		△4	△48	△61	△29	△65	△50	△57	△11	10	△46	△7	△22	23	△96		
電気機械器具(16)		25	△44	△57	△38	△63	△44	△69	△6	6	18	△19	△63	19	△88		
輸送用機械器具(28)		△24	△61	△40	△12	△37	△36	△40	△14	△4	△7	△28	△43	64	△85		
その他の製造業(13)		△25	△54	△54	△54	△39	△39	△31	△15	15	△8	7	31	54	△85		
非製造業(180)		△10	△28	△20	△17	△22	△31	△26	7	4	△10	△3	△34	13	△62		
建設業(39)		△7	△28	△31	△33	△36	△44	△23	27	10	△16	△3	△37	10	△58		
卸売業(34)		△44	△30	△18	△32	△16	△24	△29	△13	13	△12	0	△20	4	△72		
小売業(28)		8	△14	△11	11	△11	△11	0	38	22	16	△4	△28	23	△52		
運輸・倉庫業(23)		15	△18	0	0	△5	△17	△27	△10	△8	△38	13	△44	10	△57		
ガス業(6)		0	△33	△66	△17	△67	△67	△75	△33	33	17	0	17	17	△67		
サービス業(39)		△9	△41	△32	△27	△38	△48	△48	△7	△21	△17	△10	△44	0	△69		
ホテル・旅館業(11)		△38	△36	0	0	25	28	0	0	0	△50	△27	△55	64	△73		

※業種名の横の( )内の数字はサンプル数